



カリフォルニアの風

サンフランシスコ日本語補習校 平成 30 年 10 号

“ようこそ先輩” 補習校の良さを流暢に語る

10月13日(土)、中高サンノゼ校において全校生徒が一同に会しての合同授業が行われました。合同授業は、本校卒業生を迎えての先輩の授業です。先輩先生の名はMさんで2014年の3月に本校の高等部を卒業し現在大学に通いながら、会計事務所でインターンシップとして働いています。授業は、補習校に通う意義と



ともに後輩に対する激励でしたが、授業内容の素晴らしさは言うまでもなく、彼女の日本語による表現力、授業構成、堂々とした態度等は少なからず後輩に色々な面で刺激を与えたと思われます。中でも、彼女の明瞭な日本語は、2歳時に渡米し家庭と補習校だけで獲得したものとは思えないほど流暢でした。もちろん、それには本人のたゆまぬ努力があったことは言うまでもありません。実際「ある程度の日本語を身に付けるためには補習校に通うだけでは限界があります。それ以上の努力が必要です。」ときっぱりと釘を刺していた。

質問コーナーでは「現地校の生活は辛かったですか？」の質問に、放課後に部活をしていたため宿題をするのが辛かったがスケジュール管理をしっかりすることで乗り越えたことを話していた。

授業参観多くの保護者訪れる

10月13日(土)、中高部サンフランシスコ校、サンノゼ校の両校で授業参観が行われました。多くの保護者が訪れ熱心に参観していました。低学年の授業では、保護者の姿を見て喜々として授業に取り組んでいる様子が見られました。本校では、授業参観後に保護者の皆様に感想等を書いて頂いていますが、ほとんどの授業において、好評価を頂きました。しかし、お褒めの言葉だけではなく、授業の課題を的確に捉えた感想もあり、先生方にとっては授業改善に生かすうえでの参考となっています。以下、保護者感想からの引用です。

>先生の授業が分かりやすく私ももう一度数学を勉強してみたいと思いました。こういう素晴らしい先生がいて下さることに本当に嬉しく感じました。

>もうちょっと参考資料(ポスターや写真、ビデオ等)も加えて、変化のある授業内容にされたらもっと生徒の興味を引き付けることができると思いました。

>授業参観は国語と数学だけなので、家庭学習での手助けのヒントを見つけるためにも、社会の授業参観を希望します。

>音読した生徒の声が小さい。もっと大きな声でしっかりと発表できるように指導してほしい。また、生徒の姿勢に気を付けてください。